

# アンモナイト Q&A

Q.「アンモナイト」はどんな生きもの？

A.現在のイカやタコ、オウムガイと同じ「頭足類」のなかまです。かたい殻からをもっていて、内側に仕切りの板があります。この殻はうず巻き型をしているものがおなじみですが、巻きがほどけたような殻をもっている種類こせいだいもいました。古生代デボン紀前期に原始的なものが現れてから、中生代白亜紀末に絶滅するまでの3億年以上の間、世界中の海で栄えました。



殻の断面の様子

Q.「アンモナイト」って名前の生きものがいたの？

A.一般に「アンモナイト」とよばれている化石の生きものにはそれぞれに『ユーパキディスカス ハラダイ』や『ポリプティコセラス ユーベレエンゼ』などのように、名前(学名)がついています。そのため「アンモナイト」というのは1種類の生きもの名前ではなく、それらのなかまの化石を「ひとまとめにしてよぶときの名前」なのです。名前(学名)がついているものだけでも1万種類以上が知られています。



ゆる巻きで成長線が細かい  
ゴードリセラス

Q.どんなところに生きていたの？

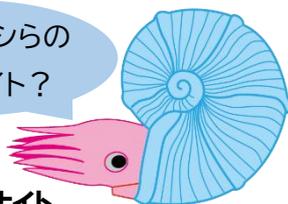
A.共通して海の地層から化石が見つっていますが、世界中の広い範囲はんいの海で化石が見つかるもの、水深の浅い沿岸域せんがんいきにだけ生きていたもの、逆に陸地から離れた遠洋域えんやういきを好んでいたものなど、さまざまな種類がいたようです。泳ぎ回るものだけでなく、海中に浮遊したり海底をはいづくぼったりするものなど、種類によってさまざまな生き方をしていたと考えられています。

Q.今も生きているオウムガイはアンモナイトの生き残り？

A.いいえ、オウムガイの殻はアンモナイトととてもよく似ていますがアンモナイトの生き残りではありません。それぞれの祖先是4億年以上昔(古生代シルル紀以前)に分かれて別々の進化をとげました。

キミってワシらの  
孫じゃナイト？

アンモナイト



オウムガイ

いえいえ、  
おーむかしからの  
親戚しんせきです